

学校づくりアンケート結果報告

1月末に学校評価として、4・5年生児童とPTA役員の保護者の方々に、学校づくりに向けたアンケートをお願いしました。また、学校評議員5名の方々に、アンケート結果を基に、アンケートやご意見を伺いました。

◎4・5年生用アンケートの項目は、次の通りです。

【4・5年生用】

- 1 学校生活は楽しい
- 2 学校の行事は楽しい
- 3 学校の給食を楽しみにしている
- 4 先生は、話をよく聞いてくれる
- 5 勉強は、わかりやすく楽しい
- 6 困ったこと、わからないことは先生に聞くことができる
- 7 授業に集中して取り組んでいる
- 8 自分の考えをみんなの前で発表できる
- 9 先生は、よくほめてくれる
- 10 学校やクラスのきまりを守っている
- 11 先生やともだちにあいさつをしている
- 12 委員会や係の活動をきちんとしている
- 13 友だちにやさしくしている
- 14 こまったとき、相談する友だちがいる
- 15 休み時間は友だちと仲よく遊んでいる
- 16 家の人に学校のことをよく話す
- 17 コロナ予防の新しい学校生活を守っている
- 18 先生はいじめについてきちんと指導してくれる
- 19 友だちにいじめられていやな思いをしたことがある

各項目について、A（そう思う）、B（だいたいそう思う）、C（あまりそう思わない）、D（そう思わない）の4段階で記入してもらい、結果を分析しました。

AとBの肯定的な回答の割合で分析しますと、81%が「1学校生活を楽しい」と答えています。しかし、4%がDと答えていたことを軽視せず、取り組んでいくことが必要だと捉えています。また、「2行事や3給食を楽しみにしている」が80%近くであることも、楽しさにつながっていると思います。

勉強面では、「7授業に集中して取り組んでいる」が80%で、「5勉強は、わかりやすく楽しい」が76%と、授業に前向きに参加し、学習の楽しさを感じられている様

子がうかがえます。しかし、5に関して13%がDと答えている点は、授業改善、個別指導等が必要であると言えます。4・6・9は特に児童と教員のコミュニケーションの状況が分かる項目ですが、どれも70%の肯定的な回答はあるものの、約10%がDと答えており、良好なコミュニケーションが成されていない状況があったことを表しています。実際の状況やこの結果も含め全職員で重く受け止め、最重要課題として取り組んでいます。「8自分の考えをみんなの前で発表できる」がアンケートの中で最も低い55%となりました。コロナの影響で、授業の中で考えを発信する機会を十分にとれなかったことも影響しているのではないかと思います。

学校生活面の10～12では、どれも88%以上で、意識を持ってしっかりと取り組んでいる姿勢がうかがえます。

友だち関係では「13友だちにやさしくしている」が94%、「14こまったとき、相談する友だちがいる」86%「15休み時間は友達と仲よく遊んでいる」92%と高く、友人関係の良好さがうかがえます。

「16家の人に学校のことをよく話す」は83%と高く、家庭での会話を大切にしていることがうかがえます。

新型コロナウイルス感染症予防に関する項目「17コロナ予防の新しい学校生活を守っている」が89%と高く、新しい生活様式の定着が進んでいると思われます。しかし、まだまだコロナの収束については先の見えない状況です。引き続き意識して取り組んでいきます。

「18先生はいじめについてきちんと指導してくれる」が80%でした。19のいじめに関して、「ある」が17%で、昨年より1ポイント下がりました。ある程度成果として現れているとは思いますが、17%も決して少ない値ではありません。今年度も何件かのいじめ事案があり、解決に至ってはいますが、全校において道徳科を要とした、教育活動全体を通して、道徳教育に取り組み、児童の心を育てるとともに、児童支援担当教諭（みんなの先生）を中心として、全職員で「いじめ防止・早期発見対応・解決」の重要課題に引き続き取り組んでいきます。

◎保護者用アンケートの項目は、次の通りです。

【保護者用】

- 1 学校は、教育目標や経営方針、活動の様子をわかりやすく知らせている
- 2 学校行事の内容は、適切であると思う
- 3 学校に、子どものことについて気軽に相談できる
- 4 学校は、子どもが努力したことを認められている
- 5 学校は、子どもの安全や事故防止に努めている
- 6 子どもへの学習指導は適切に行われている
- 7 子どもへの生活指導は適切に行われている
- 8 学校の施設・設備は適切に管理されている
- 9 学校の施設・設備は有効に活用されている
- 10 学校給食は、栄養などをよく考えてつくられている
- 11 学校は、PTAや家庭との協力関係ができている
- 12 子どもは、学校に行くのが楽しそう
- 13 子どもは授業がわかりやすいと言っている
- 14 子どもは、学校行事を楽しみにしている
- 15 子どもたちは、あいさつがよくできていると思う
- 16 子どもたちは交通ルールをよく守っている
- 17 学校からの配布物は、必ず読んでいる
- 18 学校・学級の様子は、家庭でよく話し合っている
- 19 子どもたちは、コロナを予防するための新しい生活様式を意識して、守ろうとしている

各項目について、A（よい）、B（だいたいよい）、C（あまりよくない）、D（よくない）の4段階で記入していただき、結果を分析しました。

AとBの肯定的な回答の割合で分析しますと、2項目を除いて90%～100%と全体的に、高い評価をいただき、本校の教育活動にある程度成果を感じていただけていることがわかります。特に、10の給食に関しては、Aが80%と市内4校の地産地消推進校として、信頼を得られていることは大変ありがたいことだと思います。

評価の低かった2項目は9の学校施設の有効利用に関するものと15の子どもたちのあいさつに関するものでした。

今年度は施設整備の遅れにより、プール学習ができなかったことが最も施設の有効

利用ができなかった点であると思います。また、桜の樹木の老木化により倒木の危険から、長い期間遊具が使えなかったこともあげられます。来年度に向け改善していきます。

また、あいさつに関しては、児童の委員会活動でも呼びかけを実施しました。引き続き改善に取り組みます。

Aの評価がBの評価よりも少し低い値だった項目は、6、7、8、13でした。

8に関しては、前述の9と重複するところだと思います。

6・7・13につきましては、児童のアンケートが表していた児童と教員のコミュニケーションの状況によるところが大きく影響していると考えられます。この項目は、教育活動の中心になるものですので、最重要課題として、来年度も教科学習指導、生活指導等の充実に取り組みます。

16の交通ルールに関しては、この項目のみAが0%、Bが90%とAが最も低い項目でした。学校内では分かりづらい児童の行動として、普段保護者の方が感じている評価です。1年生の入学当初は全国的にも事故が多い傾向にあります。年度初めの下校指導を実施するなど、引き続き学校での交通安全指導の充実につなげて行きます。

◎学校評議員の方々につきましては、今年度は学校評議員会を4回行いましたが、入学式の来賓参加見合わせ等、児童の活動の様子を十分に見ていただくことができませんでした。そのような状況でしたが、児童と保護者のアンケート集計結果をご覧いただき、アンケート等にもご協力いただきました。判断材料や情報の少ない中でしたが、学校評議員の役割として、保護者や学校職員でない立場から客観的に教育活動を観て判断し、学校をバックアップしていきたい等の心強い意見や他の場面での児童の素直で元気な様子など様々ご指摘や情報等をいただくことができました。

児童を含め、アンケートにご協力いただいた方々、貴重なご意見を本当にありがとうございました。

教職員による自己評価・年間反省も含め、いただいたご意見やアンケート結果を基に、来年度に向けて、改善してまいります。